

ラフター関係の制御用バルブの電磁コイルの定期交換のお勧め

稼働時間が多いラフタークレーン車輛で、PTO 制御用バルブの電磁コイルが劣化により断線状態となりクレーンを動作させる油圧ポンプの駆動が止まり、クレーン操作が停止する事例が報告されました。

原因は、電磁バルブの通電されるコイル部分が劣化しコイルが断線状態となり PTO 部位の油圧クラッチが ON にならずクレーン操作用油圧ポンプの駆動が停止してクレーンが動かない状況となりました。対応は、現地での部品交換で対処は終了しました。

クレーンを使用するお客様に、定期的な電磁コイル部品の交換を推奨し作業現場でのクレーン操作停止状況がならないようにお勧めいたします。

クレーン作業中電磁バルブに常時通電しているところに使用します部品は、納入後 4 年又は 7000HR での、交換を推奨いたします。使用環境（外気温度）や、現場の状況（ほこり等）で大きく、左右されます。クレーンの性能検査 2 回目での（4 年）部品交換を推奨致します。